市報 にいがた

昭和45年10月18日発行

定価1部3円（昭和30年9月20日第三種郵便物認可）

発行所 新潟市役所 新潟市西堀通り6番町866 電話 代表(23)1000

編集人 中島正二

印刷所 （株）文明堂印刷所

（A）

音楽特集号

第18回新潟市芸能まつり日程

月・日	内容	会場	時間	料金
10・19	民謡 第1部……佐渡おけさ、両津甚句 十日町小唄、八木節など	市公会堂	午後6時30分	150円
21	演劇……「棒になった男」	〃	〃	200円
23	民謡 第2部……秋田音頭、ソーラン節 江差追分、新潟小唄など	〃	〃	150円
24	民謡 第3部……新津松坂、黒田節 水原甚句、相川音頭など	〃	〃	150円
25	洋舞……「青い鳥」 演劇……「三年寝太郎」	〃	午後1時	大人100円 子供50円
28	琵琶……錦心流琵琶、菊慈童など 謡曲……宝生流謡曲 井筒、班女など	〃	午後6時	100円
31	洋舞踊……ザ・クインビー、キャラバンなど 軽音楽……「さくらんぼちゃん」「アラブの踊り」など	〃	〃	100円
11・1	合唱……新潟混声合唱団 浜浦サークル、コールアカデミーなど	〃	午後1時30分	100円
3	邦楽……「ひぐらし」、「銀世界」など 日本舞踊……「端午」、「羽衣」など	〃	午後1時	200円
4	洋楽……合奏協奏曲、ピアノ独奏 メッオソプラノ独唱など	〃	午後6時30分	200円
7	小中学校音楽会……白新中吹奏学部 有明小合唱部など	〃	午後1時30分	無料
8	交響楽……交響曲第2番ニ長調 ピアノ協奏曲第2番ハ短調など	〃	午後7時	300円

前売券は名曲堂、カネコ楽器、市社会教育課で取り扱っています。なお当日券も発行、料金は前売と同額です。

生活の中に音楽を

家族でどうぞ〝あすから芸能まつり〟

▽……人間の生活に潤いは欠かせない。殊更、情報化時代が生んだ複雑化、技術革新がもたらした巨大なメカニズム――それらの中で人間疎外や孤独の感情が現われる。これが心のよりどころを求める現代人の間に慢延する気配である。そこで私は市民の皆さんに情操を高めることを願った。情操とはそんなむずかしいことではない。私流に言わせれば豊かな心の持ち主であればよい。そんなわけで新潟市は「スポーツと音楽都市」を宣言したのである。市民の皆さんはこれに大いに賛同くだされ、都市宣言は着実に実をあげつつある。音楽では各種団体に加入する人が万余を数えそうである。家庭に職場にあるいは同好のつどいに。「唇に歌、心に笑い」のムードがあふれているようだ。まだまだ不足な面が多く、市民の皆さんには満足して戴けないが、施設の充実はじめ、これらの施策には積極的に取り組む決意である。市民総参加の豊かな音楽都市に育てたい。……△

新潟市長 渡辺浩太郎

家族だんらんのひととき，家族全員でピアノをひいたり，NHKのみんなの歌などを合唱したりして〝家庭の和〟をはかり音楽を楽しんでいる野瀬敏弥さん一家。

＜関屋金鉢山町の自宅で＞

新潟市児童合唱団

県民会館で初舞台ふむ

市がスポーツと音楽都市宣言をしてから、二周年を迎えました。

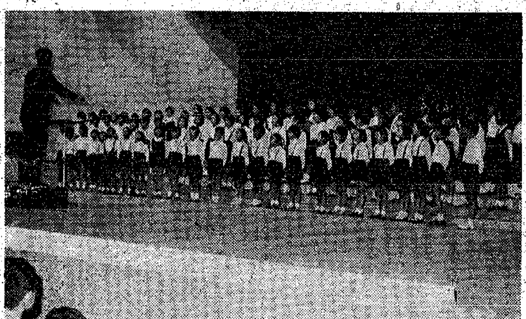
この間、市歌、市民歌が市民の手で誕生し、成人層の音楽活動の育成は順調に進んでいます。そこで児童の音楽育成も考慮し、児童合唱団が結成されました。

・市内の浜浦、関屋、鏡渕、白山新潟、有明台、附属の七小学校の四年生以上を対象として〝新潟市児童合唱団〟が今年七月に誕生しました。

合唱団員は約百六十人です。

このメンバーで十月十一日、県民会館で初舞台をふみ、市民の大好評を博しました。

この合唱団は、市の小学校音楽連盟の先生方と相談のうえ、児童の疲労度、交通安全などを考慮して、前記七校から団員を決めたものです。



初舞台ではりきる新潟児童合唱団 ＜県民会館大ホールで＞

NHK交響楽を聞いて

二葉中 二年 水島直子

本来、交響楽について、あまり興味のなかった私は、たいして行く気にはなれませんでした。が、実際に、NHK交響楽団のナマ演奏に触れてみると、なんともいい難い感動を覚てました。私は今まで、すぐれた文学作品によって、心を動かされたことは、何度かありましたが、文学とはまたちがった、交響楽だけにしかない感動を、味わうことができました。

交響曲第五番ハ短調「運命」の第一楽章の冒頭。いきなり激しくたたきだされる「運命」の動機。まったく単純とさえ思われるこの主題に、この時ばかりは、何か驚きのようなものが感じられました。たったこれだけの主題に、深大な意味を持つということを、この主題があったからこそ、全曲の構成が成り立つということを、この時わかったような気がします。

その他、軽騎兵序曲、ピチカートポルカ、フィガロの結婚序曲、ハンガリー舞曲第五番・第六番があったわけですが、どれ一つにしても、楽団の皆さん一人一人の努力の集団なのです。だから、たとえバイオリンがぬけただけとはいえ、その曲は、もう死んでしまうでしょう。また、指揮者の手は、曲の最初から最後まで、ある時には細やかに、ある時には大らかに、動き続けます。多くの練習により、初めてステージに立って演奏した当時から、今日に至るまで、世界中に響き渡った、このすばらしい演奏。それは、NHK交響楽団の皆さんの練習の成果と、いつも交響楽と接している生活と心情が、出尽していたと思います。

私自身、音楽はあまり好まないほうですから、このようなオーケストラのナマ演奏を拝見したのは、これが初めてです。

これを機会に、今後の音楽活動を、一層充実したものにしていきたいと思います。

市歌・市民歌のレコードをどうぞ

市歌，市民歌のレコードを発売しています。特に市民歌は小学生をはじめ，市民のみなさんに好評を博しています。あなたのお宅に1枚どうぞ。

▼発売所 名曲堂，平和音響，三光楽器店，市社会教育課

▼料金 1枚370円

▼会社・学校など団体で使用の場合は，市社会教育課で無料配布

ショート・インタビュー

学校町2 西村二郎さん（67歳）

家庭への普及を望む

音楽芸能協会のメンバーは、最近非常にふえているが、市民全体からみればその割合は小さい。音楽芸能は、楽しいにつけ、悲しいにつけ、人の心を豊かにし、また励ましてくれる。

家庭的にも邦楽洋楽を問わず家族全体で楽しめるので一層普及されることを望んでいる。

幸い市の音楽教室なども次第に充実し、音楽センター建設も考慮されているので一日も早く実現するよう皆んなで協力してゆきたい。

（新潟市音楽芸能協会長）

海老ヶ瀬 長沢亀さん（42歳）

音楽と語り合う

私たちは誰でも、せっかくの人生を有意義に価値あらしめたいという願いを持っている。

人は真剣に生きた度合、経過に従って、広さ、深さ、暖かさなどを備え、人々を愛し励ましてくれると同様に、そういうものを備え、あるいはめざした音楽は、取り組む姿勢によっていろいろな語りかけをしてくれます。

家庭や社会での音楽も、音を楽しむことから音楽を楽しむ方向に進むと共に、こういう音楽にも語り合える美しい住み良い人間社会をめざしたいものです。

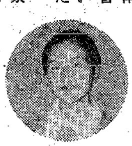
（県立女子短大教授）

松波町3 松谷俊子さん（49歳）

市歌・市民歌をラジオやテレビで

音楽には人の心にかよい合うなにものかがあります。市民全部が音楽を愛し、音楽を通して明るい新潟市になってくれればよいと思います。現在、合唱サークルに参加していますが練習会場がなくて困ります。ピアノなどが気軽に利用できる施設を造っていただきたい。また、せっかく制定した市歌・市民歌を誰もが歌えるようにするために、ラジオやテレビで放送したらどうでしょうか。

（主婦）



西大畑町 武見みち子さん（20歳）

音楽専用の練習場を

歌うことが大好きです。さびしい時、楽しい時、歌を歌う。家で洗濯、掃除をしている時に歌を口ずさむ。

その歌に心をいれている時、楽しいと同時に涙が出てきます。それほど、私と歌は密接で生活とは切り離せません。

また、合唱も好きですが、市で音楽も愛好する私達に練習する専用の施設を是非造ってほしい。

そして音楽都市にふさわしい、明るい市民環境をみんなでつくりたいものです。（女子短大生）